

窪田一誠議員



イオンのその後は
 議員 大型店舗イオン進出に
 関して町当局から県へ打ち
 合わせに出向いたと聞いた。
 その経過と17年6月8日の
 新聞報道との関係及び今後
 の見通しは。

県「農地転用は難しい」

町長 助役と担当課長が県に
 状況説明をしたが、優良農
 地であるために、農地転用
 は難しいということだった。
 郊外の大型
 店出店は中
 心市街地の
 活性化に大
 きな影響が
 あり、県で
 は17年度に
 問題を協議
 する懇談会
 を開催する
 予定と聞く。
 町としては
 雇用の場、
 財源の確保



防災会議の中で検討

総務課長 策定委員会は設置
 していない。「地域防災計
 画」は11年3月に修正し、
 その後修正
 していない
 ので自主防
 災組織の設
 立、地域防
 災計画の修
 正・見直し
 を進めマニ
 ュアルを作
 成し新たな
 委員会を組
 織せず防災
 会議の中で
 検討する。

の面で期待できるので、地
 元の意見を尊重し、関係機
 関と相談しながら慎重に対
 応したい。

地震災害復旧マニュアル 策定は

議員 16年12月議会で大地
 震復旧、支援現地ポランテ
 ィア活動のマニュアルを策
 定すべきと提案したところ、
 「町民生活都市機能復興へ
 のマニュアル策定委員会な
 どを設置し検討していく。」
 という答弁だったが。

舟橋貴之議員



ウイルススウィル村とは
 議員 友好親善提携を目指す
 と15年9月議会で表明して
 いたスイスウイルススヴ
 イル村とは、いま、どうな
 っているのか。

協定書締結に至らなかった

町長 過去3回「視察団」を
 派遣したが、機運の高まり
 に欠けたこともあり、協定
 書締結に至らなかった。

保育サービス第三者評価 制度を

議員 保護者の不安を増大さ
 せないために「第三者評価
 制度」の導入を。

他の市の事例を参考に

助役 公表により、保護者が
 容易に比較検討でき、また、
 サービスの充実も図れる。
 実施した市の事例も参考に、
 具体的なメリットなど、導
 入の効果を調査したい。



環境センター(上金剛寺)



議員 土曜日保育の拠点を定
 め、完全実施を。
 助役 父兄からも同意が得ら
 れる保育所を選定して、一
 日保育の試行を、関係課と
 も協議しながら進めたい。

議員 アルミなどの分別で得
 た売却還元金や実績に応じ
 た報奨金を保健衛生協会に
 交付する「立山方式」をや
 めていいのか。

住民環境課長 売却還元金の
 交付については17年度から
 段階的に引き下げていく。

桑原米蔵議員



**富山地区広域圏に温水プ
ールの建設を**
 議員 常願寺ハイツの浴場を
 縮小し、温水プールの建設
 とトレーニングコーナーを
 充実する考えは。

地域の住民を含めて「検 討委員会」を設置

町長 供用開始から23年が経
 過しており、建物診断を受
 けたところ、早急に改修す
 る必要性を指摘された。
 今後は、地域の住民を含
 めた「検討委員会」を設置
 して、改修方針を協議する
 予定である。

現在は、常願寺ハイツ改
 修基本計画を策定中である
 が、この計画では☒温水プ
ールは他に例がないことか
 ら、今後とも充実させる方
 向で検討する。☒浴場につ
 いては、縮小・存続を含め
 て検討する必要があるが、浴
 場の代替施設として何が良



常願寺ハイツ

いかを含めて検討するとし
 ている。

旧センター解体工事は

議員 解体工事の現場視察を
 もっと幅広く行い、地域住
 民に安全と安心を。

町長 旧クリーンセンターの
 解体工事は、4月から本格
 的に取り掛かり、今はダイ
 オキシンの取り除きを行
 っているところである。地
 域住民から現場視察の要望
 があれば、機会を捉えて行
 いたい。



過疎地対策は

議員 人口減少の続く、東谷・
 上段・立山地区の再生は。
 町長 当該地域の活性化対策
 は急務であると考えている。
 町では、中山間地域若手世
 帯定住促進事業補助金制度
 を創設し、昨年度は2件の
 助成をした。今後も適切
 な対策を検討したい。

議員 町営住宅の建設や、 町独自の宅地造成は。

町長 各種の事業補助金制
 度を活用しながら、東谷・
 上段・立山地区での民間
 活力の参入に期待して
 いる。

議員 上東中・谷口小・東 谷保育所の有効活用は。

町長 遊休施設の有効活用
 は重要であり、利用目的
 の一つにグリーンツーリ
 ズム推進のための施設と
 しての再利用が考えられ



上米沢町営住宅